

# AGI 東アジア 12カ国・地域経済動向

東アジア 12カ国・地域の経済動向を、主要統計のグラフとアジア成長研究所（AGI）の研究員による解説とともにお知らせいたします。（2018 年第 3 四半期）

## グラフの読み方

図 1：実質 GDP と GDP デフレータの伸び率 一国経済の基本的な経済動向を読む

- 実質 GDP 国内総生産（GDP：Gross Domestic Product）は、国内で生み出された財・サービスの付加価値の総計である。GDP には名目値と実質値があり、そのうち実質 GDP の伸び率は経済成長を測る代表的な指数である。
- GDP デフレータ 名目 GDP を実質 GDP で除した値として計算される。その伸び率は、名目 GDP の価格上昇分を表し、インフレの程度を知ることができる。GDP デフレータのプラスの伸び率が高いほどインフレ傾向にあり、マイナスの伸び率が高いほどデフレ傾向にある。

図 2：貨幣供給量と国内信用の伸び率 政府の金融政策と景気の関係を読む

- 貨幣供給量 経済全体に流通している貨幣の総量。通常、金融政策は中央銀行が貸出や公定歩合操作、債券売買や外為市場介入等を行うことによって実施される。金融政策により貨幣供給量が増加すれば、短期的には経済が拡大するが、長期的には貨幣価値が下がるので物価の上昇を招きやすい。M1 とは現金の流通額と預金（当座預金、普通預金等）を合わせたもので、M2 は M1 に定期預金、外貨預金等を合わせたものである。
- 国内信用 銀行部門の貸出等（信用）の総額。政府向け信用と民間向け信用に大別される。政府向け信用は主に銀行の国債保有残高、民間向け信用は主に企業向け貸出額にあたる。この伸び率が高ければ、国内市場に循環する資金が増加したことを示す。なお、一部の国では国内債権（Domestic Claims）を使用している。

図 3：消費者物価指数、株価指数、為替レート指数 インフレと景気動向を読む

- 消費者物価指数 消費者が購入する財・サービスの価格を加重平均したもの。インフレの程度を測る代表的な指数である。指数が上昇すればインフレ傾向にあり、下落すればデフレ傾向にある。
- 株価指数 株式市場の上場銘柄全体の値動きを表す指標である。景気（および人々の期待）の動向を知ることができる。指数の継続的な上昇は好況を、継続的な下降は不況を示唆する。
- 為替レート指数 本国通貨と米ドルとの交換レート（ドル／本国通貨）。指数の上昇は本国通貨高、下落は本国通貨安を示す。本国通貨高は輸入価格の下落により、輸入がしやすくなる一方、対外的に見て、輸出価格が上昇するので輸出が難しくなる。

図 4：輸出額と輸入額 対外経済部門の動向を読む

- 輸出額 輸出数量×輸出価格。輸出は外貨獲得の重要な手段である。
- 輸入額 輸入数量×輸入価格。資本財や中間財の輸入は国内の生産能力を増大させ、消費財の輸入は消費者の満足度を高める。



公益財団法人 **アジア成長研究所**

〒803-0814 北九州市小倉北区大手町 11-4 / TEL：093-583-6202 / URL：<http://www.agi.or.jp>

# 日本の経済指標

図1：実質 GDP と GDP デフレータの伸び率  
(前年同期比, %)

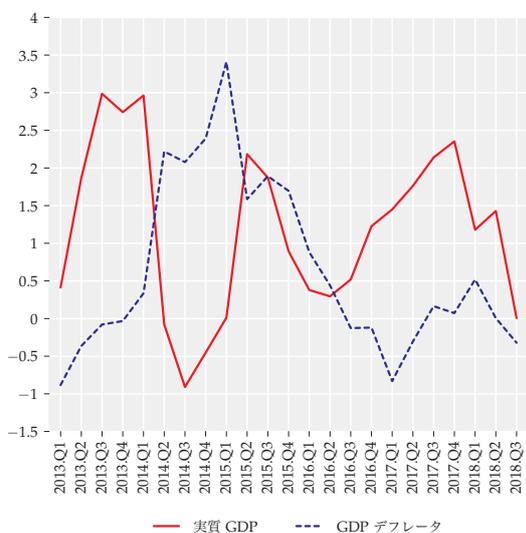


図2：貨幣供給量と国内信用の伸び率  
(前年同月比, %)

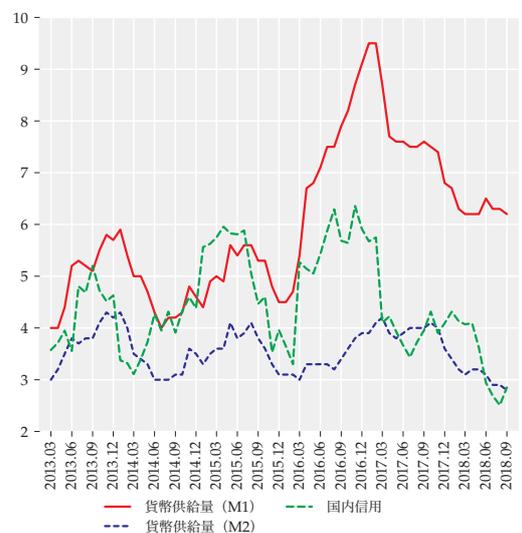
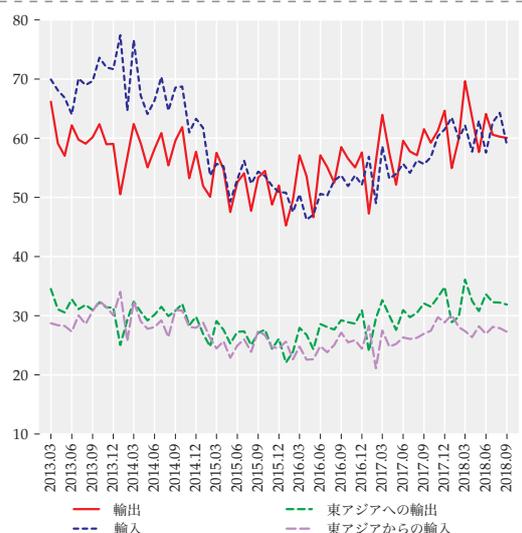


図3：消費者物価指数, 株価指数, 為替レート指数  
(2015年=100)



図4：輸出額と輸入額  
(10億米ドル)



## 日本経済の動向 (2018年第3四半期)

2018年第3四半期の実質 GDP の伸び率は 0.0 % と大きく落ち込んだ (2次速報値)。これを季節調整値に直すと -0.6 % で、前期の 0.8 % から再びマイナスの成長となった。自然災害による景気の悪化が原因とされているが、ここ数年の異常気象を見ると、今後はこれが普通だと考えて経済活動をしたほうがよさそうだ。貨幣供給の伸びはいったん落ち着いているが、米ドルベースの輸出額は引き続き回復傾向にある。1米ドル=110円を超えるあたりで為替が落ち着いており、日経 225 も 22,000 円を超えるようになった。各種指標はあまり変化していない。米国が中国に貿易戦争を仕掛ける中、安倍首相は中国を訪問し、友好をアピールしようとしている。一方、韓国との関係は悪化する可能性が高い。諸外国との関係が重視される中で、外国人労働者の受け入れが議論されている。「移民政策」は取らないとの建前はいいが、末端の顧客に接するサービス業で、外国人のアルバイトが増えている現実をどう見ているのだろうか。 (坂本 博)

## 中国の経済指標

図1：実質 GDP と GDP デフレータの伸び率  
(前年同期比, %)

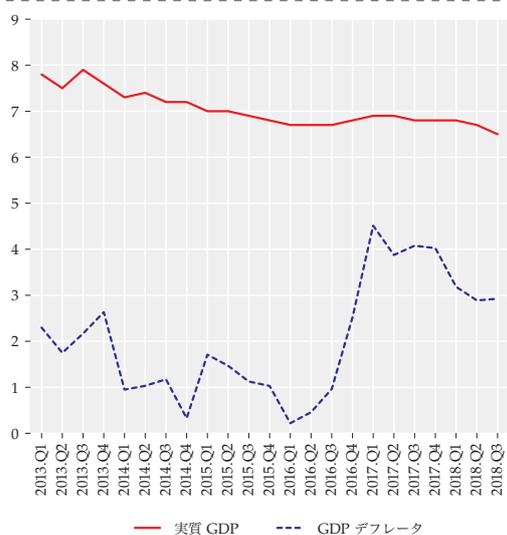


図2：貨幣供給量と国内信用の伸び率  
(前年同月比, %)

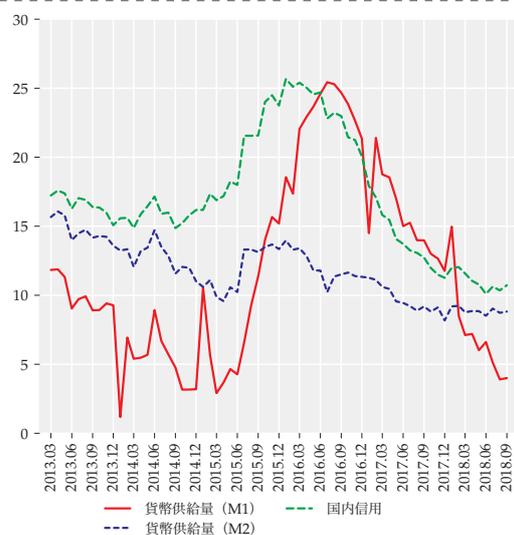
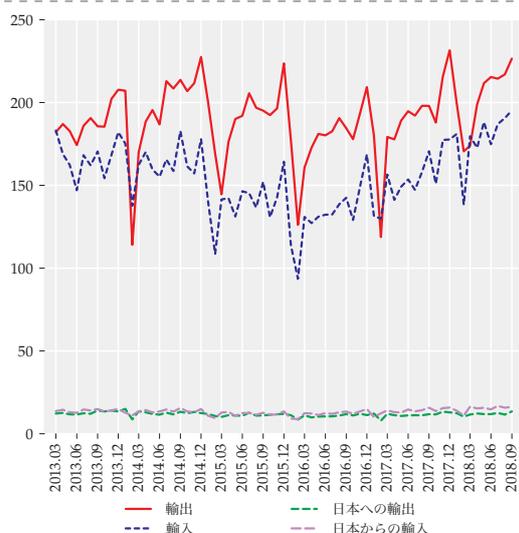


図3：消費者物価指数, 株価指数, 為替レート指数  
(2015年=100)



図4：輸出額と輸入額  
(10億米ドル)



### 中国経済の動向 (2018年第3四半期)

2018年第3四半期の実質 GDP 成長率は対前年同期比で 6.5 % となり、第1四半期の 6.8 % と第2四半期の 6.7 % から減速した。2009年第1四半期以来の低い伸びであるが、依然として多くの国を超える高成長率である。生産側からみると、第一次、第二次、第三次産業の対前年同期比伸び率は、それぞれ 3.6 %、5.3 %、7.9 % であった。第一次産業と第三次産業の伸び率は前期よりも上昇しているが、第二次産業の伸び率が下がり続けている。米中貿易摩擦の行方が不透明のなか、輸出の減速リスクによる影響を軽減するために、政府は、適度な金融緩和など一連の内需拡大策を打ち出すとともに、対話による問題解決を模索している。G20 ブエノスアイレス・サミット直後の 12 月 1 日に行われた米中首脳会談では、90 日間は追加関税を凍結し、貿易交渉を推進することが合意された。しかし、その後、中国の通信機器最大手ファーウェイの副総裁兼 CFO 孟晩舟氏が米国側の要請でカナダで逮捕され、貿易摩擦の解決に暗い影を落とした。(孫 暁男, 戴 二彪)

## 香港の経済指標

図1：実質 GDP と GDP デフレータの伸び率  
(前年同期比, %)

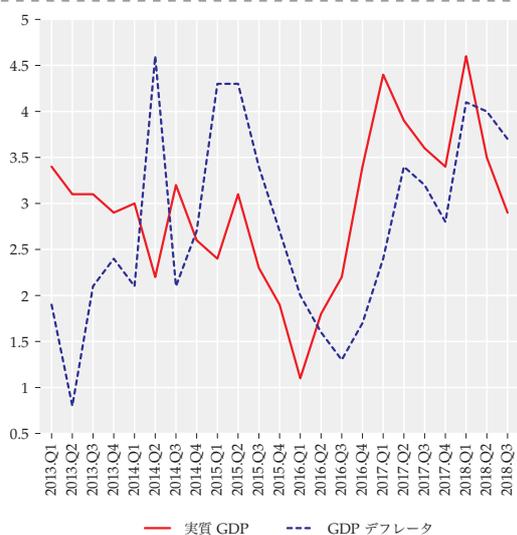


図2：貨幣供給量と国内信用の伸び率  
(前年同月比, %)

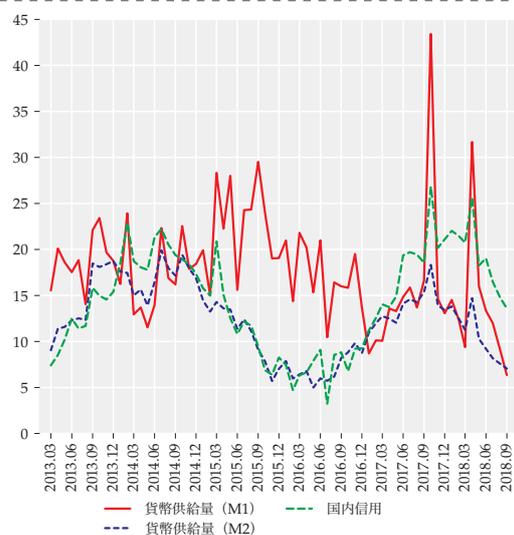


図3：消費者物価指数, 株価指数, 為替レート指数  
(2015年=100)

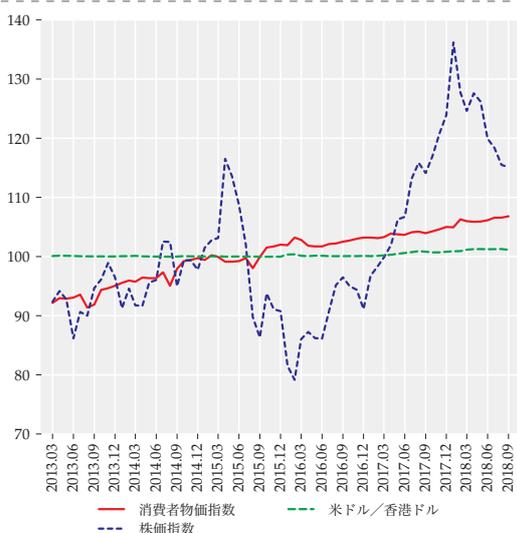
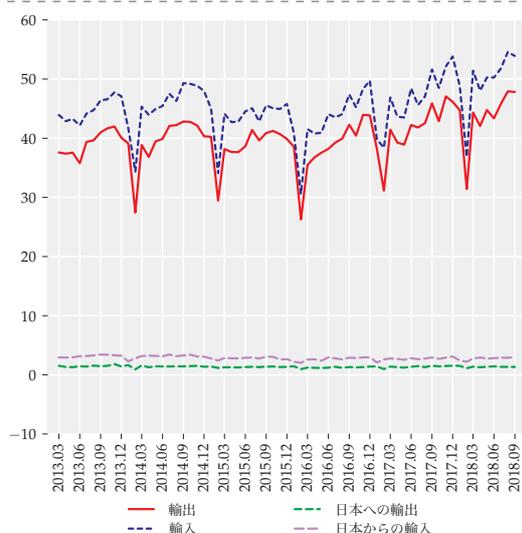


図4：輸出額と輸入額  
(10億米ドル)



### 香港経済の動向 (2018年第3四半期)

2018年第3四半期の実質 GDP 成長率は対前年同期比 2.9 % となり、第1四半期の 4.6 % と第2四半期の 3.5 % から幾分減速した。ただし、米中など主要市場の経済成長が安定に推移していたので、第3四半期の貨物輸出とサービス輸出はそれぞれ 5.0 % 増と 3.1 % 増となり、いずれも堅調に伸びた。内需も引き続き拡大しており、第3四半期の固定資産形成総額と個人消費はそれぞれ 8.2 % と 5.2 % も伸びた。11月時点で、2018年通年の香港 GDP 実質成長率は 3.2 % 程度になると予測されており、香港政府の年初予測値 (3~4 %) を達成できるとみられる。ただし、米中貿易摩擦の激化により、香港の経済成長の不確定要因も増加している。10月23日に、広東省珠海市で、珠海と香港、澳門 (マカオ) をつなぐ世界最長の海上大橋「港珠澳大橋」(海底トンネルも含め約 55 km) の開通式が開かれ、中国の習近平国家主席が出席した。「広東・香港・マカオ大湾区」内の都市間交流の拡大によって、新しい成長の可能性が期待されている。(孫 暁男, 戴 二彪)

## 韓国の経済指標

図1：実質 GDP と GDP デフレータの伸び率  
(前年同期比, %)

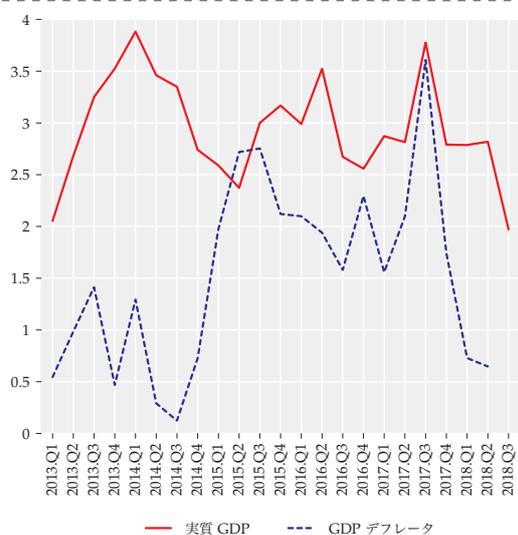


図2：貨幣供給量と国内債権の伸び率  
(前年同月比, %)



図3：消費者物価指数, 株価指数, 為替レート指数  
(2015年=100)

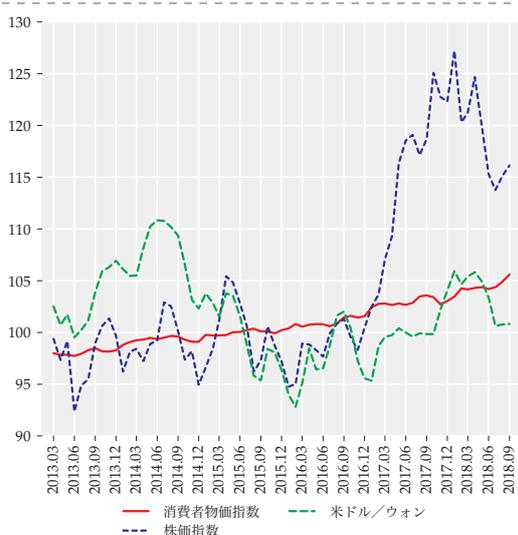
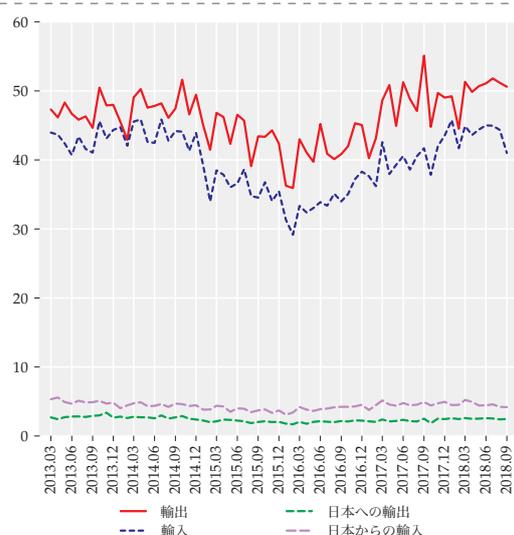


図4：輸出額と輸入額  
(10億米ドル)



### 韓国経済の動向 (2018年第3四半期)

韓国の2018年第3四半期の実質 GDP の伸び率は1.97%と低水準だった(速報値)。これまで消費者物価指数は緩やかに上昇を続け、株価や貿易は回復傾向、ウォンの対米ドル為替レートも2015年の平均前後で推移していたが、4月以降はやや陰りが出ている。文在寅(ムン・ジェイン)政権が掲げる「所得主導型成長」政策が目論見とは異なり、雇用環境の悪化や投資の減速といった悪影響を生み出し、2%弱の成長率にとどまったものとみられる。しかも、外交面では「同盟」よりも「同胞」を鮮明にしている。「北朝鮮寄り」の外交は対米関係を悪化させる恐れがある。徴用工裁判の判決は、対日関係の悪化につながる。これらにより、米韓および日韓の経済交流が縮小され、韓国経済に打撃を与えるかもしれない。しかしながら、文政権は経済面でも外交面でもこの方向を続けていくとみられており、今後の結果次第では、支持率の悪化につながるだろう。

(坂本 博)

## 台湾の経済指標

図1：実質 GDP と GDP デフレータの伸び率  
(前年同期比, %)



図2：貨幣供給量と国内信用の伸び率  
(前年同月比, %)

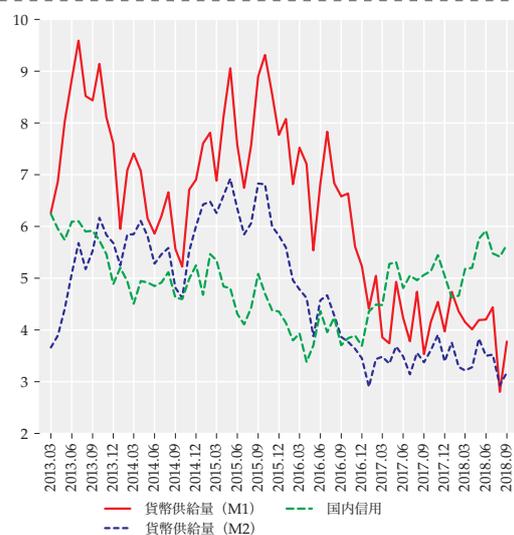


図3：消費者物価指数, 株価指数, 為替レート指数  
(2015年=100)

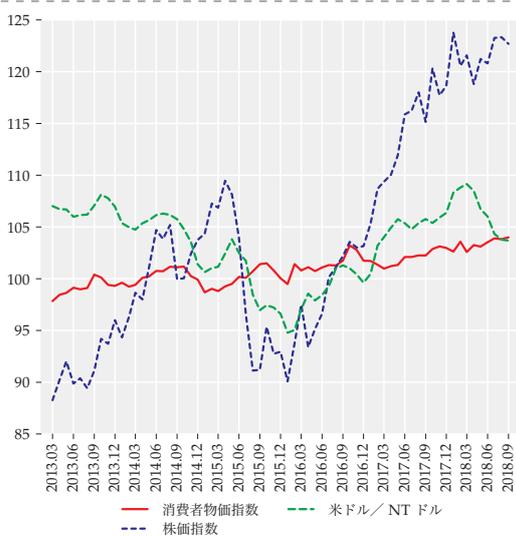
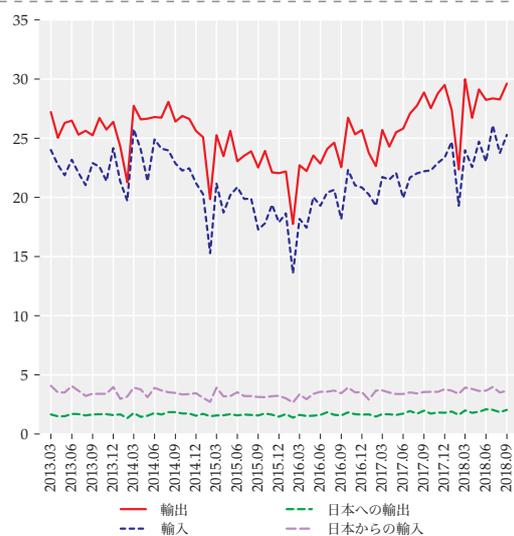


図4：輸出額と輸入額  
(10億米ドル)



### 台湾経済の動向 (2018年第3四半期)

台湾経済は、2017年第3四半期以降 GDP 成長率は3%台を維持しており、2018年第2四半期は3.29%であったが、第3四半期には2.27%とやや後退した。2018年通年の成長率は2.66%、1人当たりGDPは2万5,048米ドルと予測される(主計総處2018年11月30日付資料)。国際貿易では、2018年1~10月期の輸出総額は2,796.6億米ドル、輸入総額は2,396.1億米ドルで、昨年同期比で各々8.0%と12.5%の伸び率であった。輸出品の最大品目は電子部品で、総輸出額の32.9%を占めた(うち集積回路が大半を占める)。11月24日に台湾全土で行われた統一地方選挙では、蔡英文総統率いる与党・民進党が惨敗した。与党は経済活性化の期待に十分応えられず、「中台関係悪化で景気が停滞した」という言説が広がった。「独立か統一か」のイデオロギーとは無縁の無党派若者世代(20歳台)が、蔡総統の「現状維持」路線による閉塞感を嫌ったことが選挙結果を左右したという。

(岸本千佳司)

## インドネシアの経済指標

図1：実質 GDP と GDP デフレータの伸び率  
(前年同期比, %)



図2：貨幣供給量と国内債権の伸び率  
(前年同月比, %)

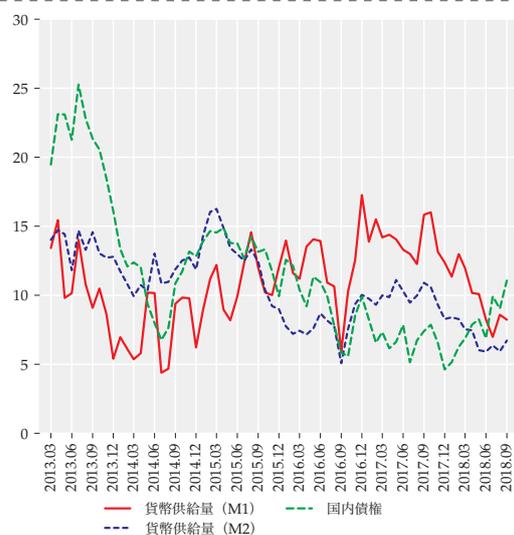


図3：消費者物価指数, 株価指数, 為替レート指数  
(2015年=100)

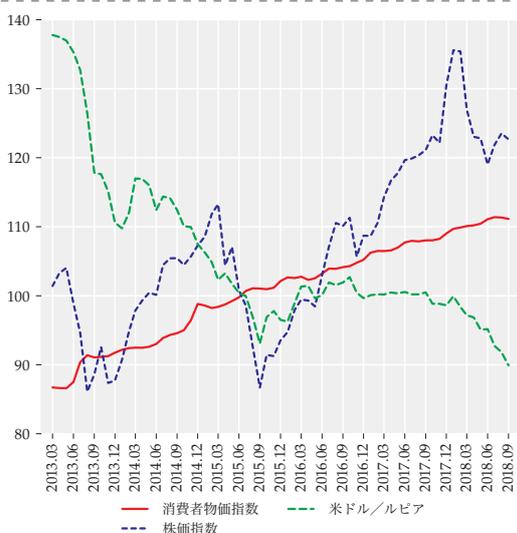
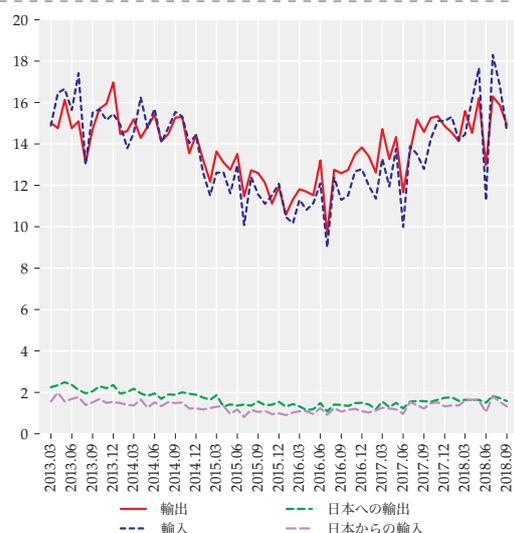


図4：輸出額と輸入額  
(10億米ドル)



### インドネシア経済の動向 (2018年第3四半期)

インドネシアの2018年第3四半期における実質 GDP の伸び率は5.17%で、依然として5%以上の経済成長を維持している。輸出入が2015年末を境に回復傾向にある(ただし、2018年は貿易赤字の月が目立つ)。内需も政府主導のインフラ開発プロジェクトによる建設投資需要と地方選挙に伴う選挙関連支出による民間消費需要が期待できる。一方で、米国の金利上昇により、ルピアが下落、資金の流出が続いている。9月末の時点で1米ドル=約14,900ルピアで、10月はさらに下落している。対応策として、5月17日、5月30日、6月29日、8月15日、9月27日および11月15日に政策金利の引き上げを行った。現在の政策金利は6.00%である。また、国内市場の流動性を高めるために、国内為替先物が導入された。外需は、引き続き米中間の貿易摩擦の影響を受けるかもしれない。アジア競技大会・アジアパラ競技大会も無事に終了し、好調な経済を背景に機動的な対応で各種懸念材料を払拭させるようだ。(坂本 博)

## マレーシアの経済指標

図1：実質 GDP と GDP デフレータの伸び率  
(前年同期比, %)



図2：貨幣供給量と国内債権の伸び率  
(前年同月比, %)

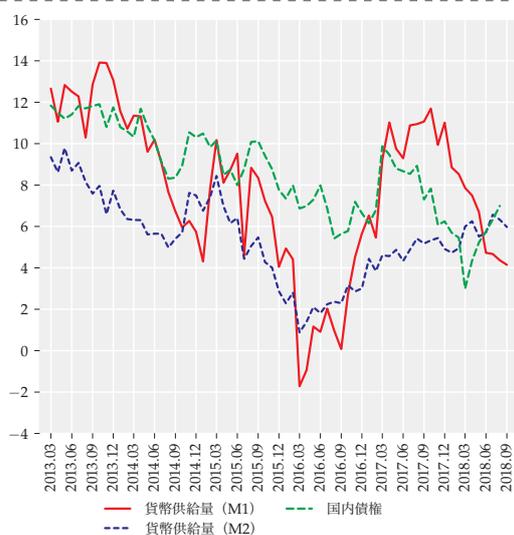
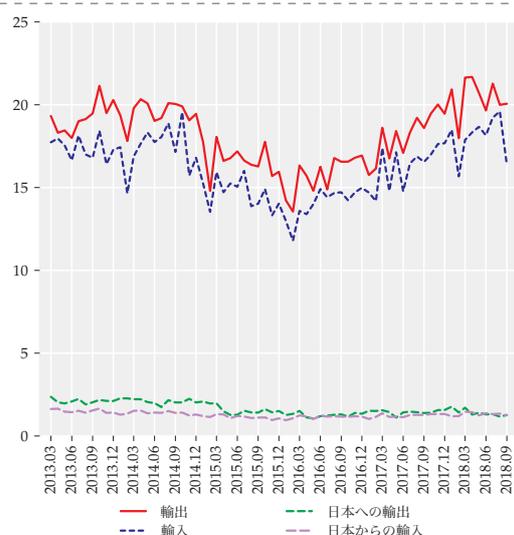


図3：消費者物価指数, 株価指数, 為替レート指数  
(2015年=100)



図4：輸出額と輸入額  
(10億米ドル)



### マレーシア経済の動向 (2018年第3四半期)

2018年第3四半期の実質 GDP の伸び率は、前年同期比 4.4 % と前期 (同 4.5 %) から若干鈍化し、4 期連続の減速となった。需要項目別にみると、民間消費が同 9.0 % 増と前期 (同 8.0 % 増) から更に加速し、引き続き経済成長の主な牽引役となった。背景には、マハティール新政権が 6 月 1 日に物品・サービス税 (GST) の税率を 0 % に引き下げたことに加え、9 月 1 日より GST に代わる消費者への負担が比較的軽い売り上げ・サービス税 (SST) の復活に先立って起きた駆け込み需要が民間消費を押し上げたことがある。今後の動向としては、GST の事実上の廃止と SST の再導入による減税効果は次第に薄れていくと考えられるほか、財政再建に向けての新政権による大型インフラプロジェクトの見直しが投資を下押しすることなどが予想される。一方、リングgit の対米ドルレートは下落基調で推移しているものの、燃料価格の安定や GST の廃止などの影響により、消費者物価指数の上昇率は小幅に留まっている。(新見陽子)

## フィリピンの経済指標

図1：実質 GDP と GDP デフレータの伸び率  
(前年同期比, %)

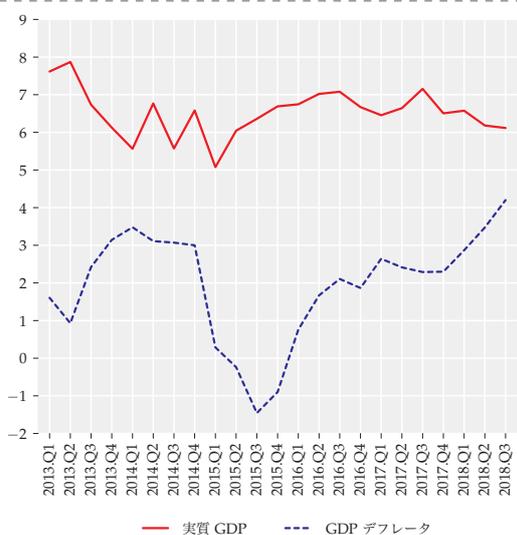


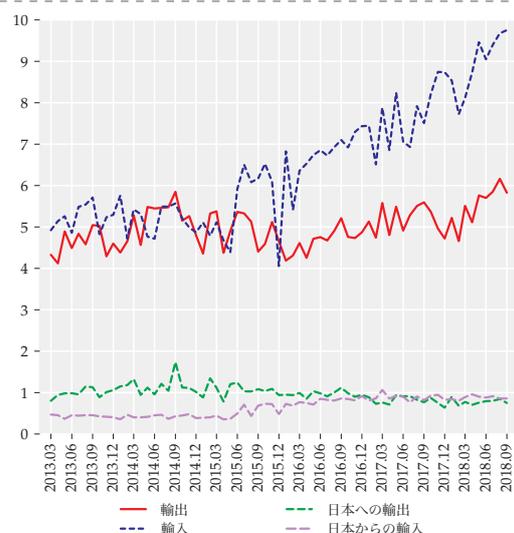
図2：貨幣供給量と国内信用の伸び率  
(前年同月比, %)



図3：消費者物価指数, 株価指数, 為替レート指数  
(2015年=100)



図4：輸出額と輸入額  
(10億米ドル)



### フィリピン経済の動向 (2018年第3四半期)

2018年第3四半期の実質 GDP の伸び率は、前年同期比 6.1 %と 6 %台を維持したものの、前期 (同 6.2 %) から若干減速し、3年ぶりの低水準となった。需要項目別にみると、GDP 成長率の低下は、主に GDP の約 7 割を占める民間消費支出の伸び率が前期の 5.9 %から 5.2 %まで鈍化したことによるものであり、その主な原因として、消費者物価指数の上昇や就業者数の減少、物品税率の引き上げ、海外出稼ぎ労働者からの送金の伸び率の減速などがあげられる。前期も高水準だった政府消費の伸び率はさらに上昇したものの、総固定資本形成の伸び率は高い水準を維持しながらも鈍化したほか、純輸出の寄与度は前期と同様に大きくマイナスであった。一方、供給項目別では、第 2 次および第 3 次産業は引き続き好調だったものの、9 月の大型台風などによる農業被害などを反映し、第 1 次産業の伸び率が前期の 0.3 %増から 0.4 %減にまで大きく落ち込み、GDP 成長率を押し下げた。

(チャールズ・ユウジ・ホリオカ)

## シンガポールの経済指標

図1：実質 GDP と GDP デフレータの伸び率  
(前年同期比, %)



図2：貨幣供給量と国内信用の伸び率  
(前年同月比, %)

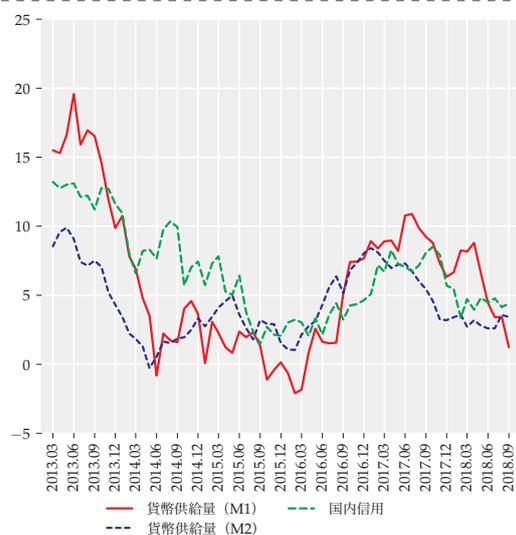
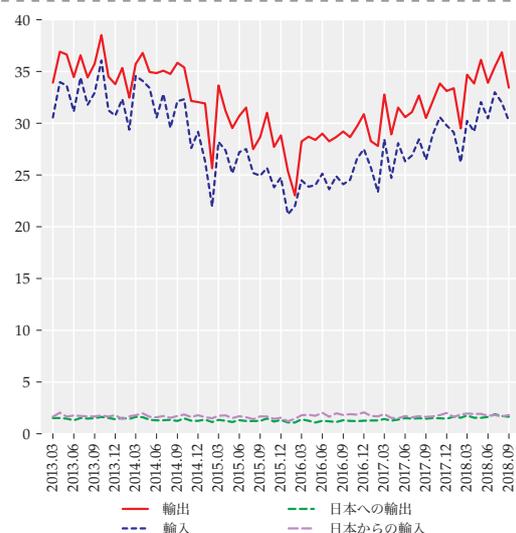


図3：消費者物価指数, 株価指数, 為替レート指数  
(2015年=100)



図4：輸出額と輸入額  
(10億米ドル)



### シンガポール経済の動向 (2018年 第3 四半期)

2018年 第3 四半期の実質 GDP の伸び率は前年同期比 2.17 % であった。2 四半期続けての減速によって 2 年ぶりの低水準を記録した。産業別にみると、経済を支える製造業は高い成長を記録した前期 (前年同期比 10.2 %) からは減速したものの 3.5 % の堅調な成長をみせた。また、建設業は 2.3 % のマイナス成長だったが、前期 (-4.2 %) よりも回復しており、サービス業も 2.4 % 成長した。これによって 2018 年の第3 四半期までの実質 GDP の伸び率は前年同期比で 3.59 % となった。通商産業省 (MTI) は、第 4 四半期も減速が見込まれるものの成長は堅調であるとして、2018 年の GDP 成長率の予測値を従前の 2.5~3.5 % から 3.0~3.5 % へと上方修正した。2019 年については、米国とその貿易相手国との間の摩擦や予想を上回るペースでの世界的な金融引き締めによるリスクから、外需が 2018 年に比べやや弱まるとし、実質 GDP の伸び率を 1.5~3.5 % と予測している。

(田村一軌)

## タイの経済指標

図1：実質 GDP と GDP デフレータの伸び率  
(前年同期比, %)



図2：貨幣供給量と国内債権の伸び率  
(前年同月比, %)

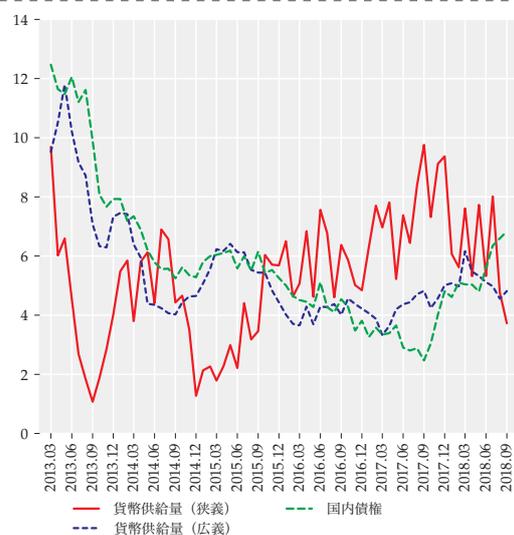


図3：消費者物価指数, 株価指数, 為替レート指数  
(2015年=100)

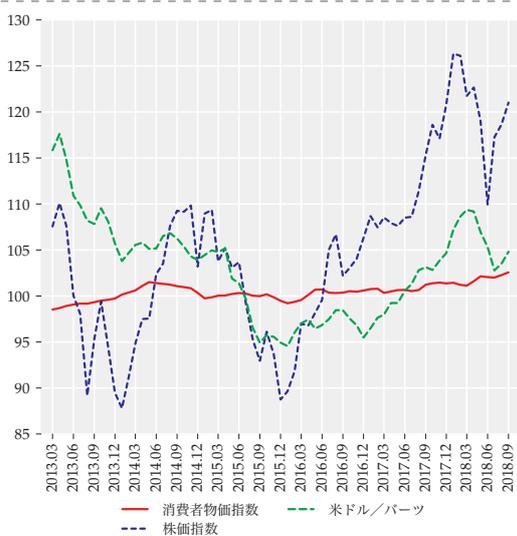
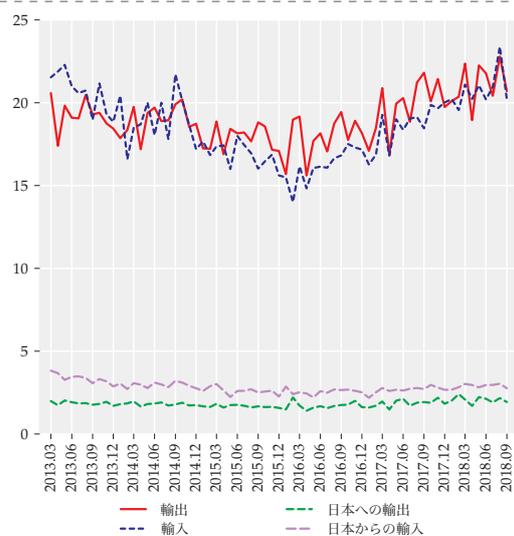


図4：輸出額と輸入額  
(10億米ドル)



### タイ経済の動向 (2018年第3四半期)

2018年第3四半期の実質 GDP の伸び率は前年同期比で 3.35 % となり、前期 (同 4.62 %) から減速した。支出側からみると、個人消費と個人投資の加速および政府消費と公共投資の拡大に成長は支えられたものの、輸出が減速している。輸出額は 9 月に前年同月比で 5.10 % の減少を記録しており、第 3 四半期の輸出額の伸び率も前年同期比で 3.28 % と低迷し、前期 (同 10.32 %) から大きく減速した。生産側からみると、建設部門が加速し、卸売・小売部門も拡大したものの、農業、製造、宿泊・飲食や交通・通信はいずれのセクターも減速した。第 3 四半期の訪タイ外国人は 906 万人で、前年同期比で 2.70 % 増加したものの、3 四半期連続で減速している。特に 8 月以降、全体の 3 割近くを占める中国人観光客が大きく減少しており、経済を下支えする観光産業への今後の影響が注目される。経済社会開発庁 (NESDB) は、2018 年の実質 GDP の伸び率を 4.6 %、2019 年を 3.5~4.5 % とそれぞれ予測している。(田村一軌)

## ベトナムの経済指標

図1：実質 GDP の伸び率

(前年同期比, %)

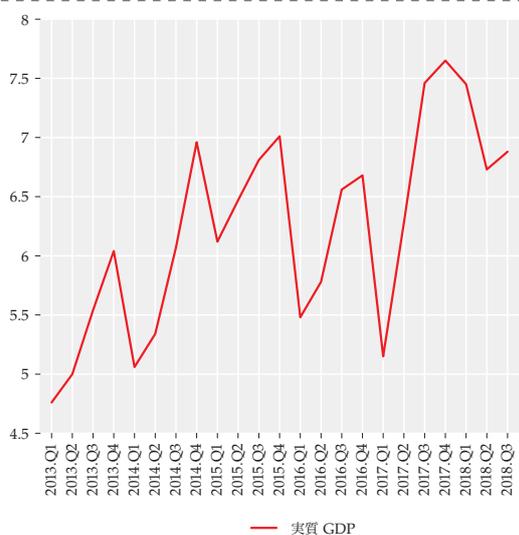


図2：貨幣供給量と国内信用の伸び率

(前年同月比, %)

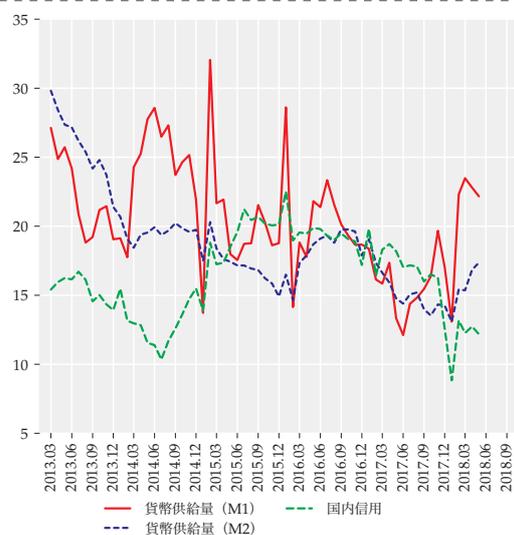


図3：消費者物価指数, 株価指数, 為替レート指数

(2015年=100)

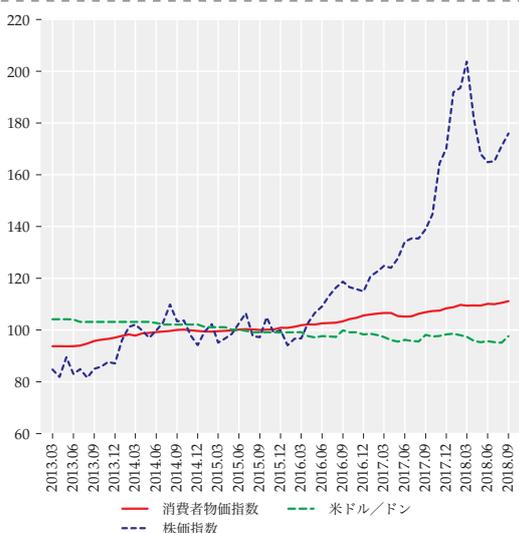


図4：輸出額と輸入額

(10億米ドル)



### ベトナム経済の動向 (2018年第3四半期)

2018年第3四半期の実質GDP成長率は6.9%であった。統計総局によれば、農林漁業と工業・建設業、サービス業の成長率はそれぞれ同3.7%増、8.8%増、8.9%増であり、GDP成長率への寄与度はそれぞれ約8.8%、48.7%、42.5%であった。農林漁業の成長は完全回復し、2012～2018年の間で最も高い伸びを示した。消費者物価指数は若干上昇したものの4%未満に留まっている。2018年第3四半期においては、ベトナムは全世界に対し貿易黒字を維持しているが、対日本では貿易赤字となっている。ベトナム国家銀行(中央銀行)は、2018年8月28日、ベトナム・中国国境貿易活動における外貨管理に関する通達「19/2018/TT-NHNN」を公布し(2018年10月施行)、中国との国境沿いにある7つの州における国境貿易活動において中国元とベトナムドンを使用することを正式に認めた。しかし、中国はベトナムの最大貿易相手国であることから、この新たな方針はベトナムの金融政策の有効性を損ねる恐れがある。(ティエン・マン・ヴ)

## インドの経済指標

図1：実質 GDP と GDP デフレータの伸び率  
(前年同期比, %)



図2：貨幣供給量と国内信用の伸び率  
(前年同月比, %)

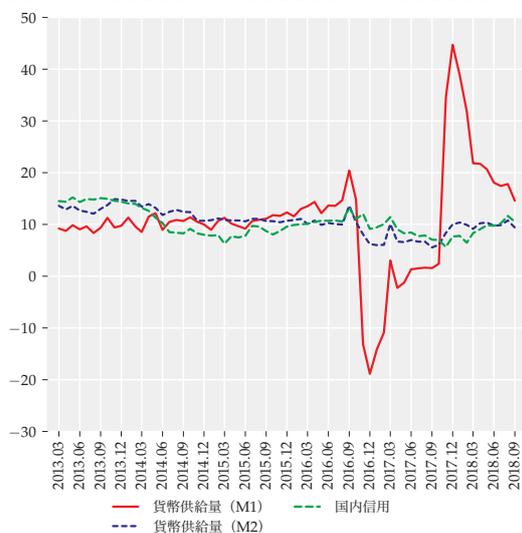


図3：消費者物価指数, 株価指数, 為替レート指数  
(2015年=100)

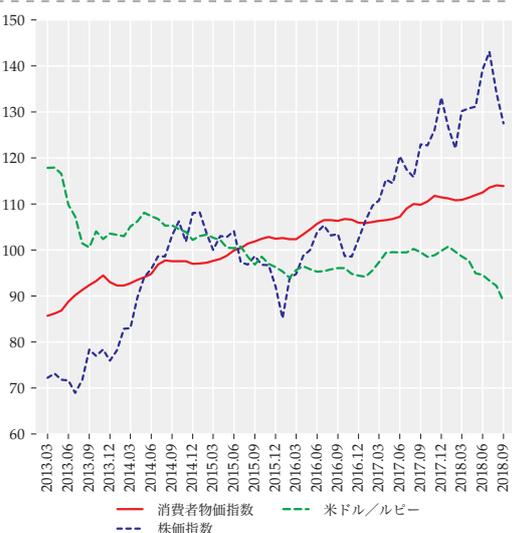
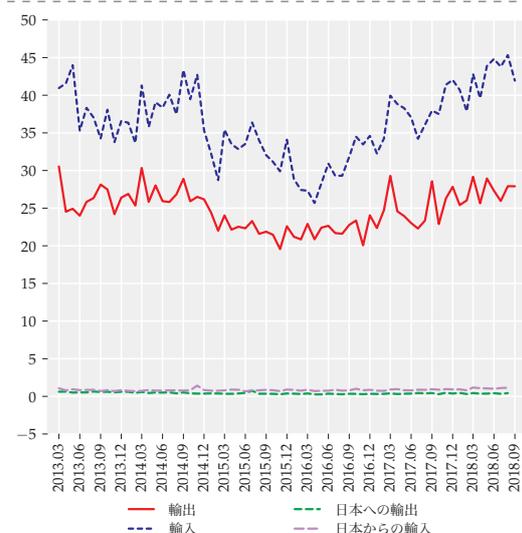


図4：輸出額と輸入額  
(10億米ドル)



### インド経済の動向 (2018年第3四半期)

2018年第3四半期の実質 GDP の伸び率は前年同期比で7.11%となり、前期(同8.20%)に比べるとやや減速したものの、高い成長を維持した。生産からみると、製造業(前年同期比7.4%増)および建設業(同7.8%増)が成長に寄与しているほか、行政および防衛も前年同期比で10.9%増加した。消費から見ると、GDPの半分以上を占める民間最終消費支出が前年同期比で7.0%増加している。貿易では、第3四半期の輸出額は前年同期で10.17%の増加であったが、輸入額がそれを上回るペース(同21.06%)で増加しており、貿易赤字が拡大している。6~8月には2013年5月以来となる170億米ドルを超える貿易赤字を記録した。それに呼応するように、ルピー安が加速し、株価上昇が減速している。消費者物価指数は8月以降は前年同月比3%台の上昇で落ち着いた推移を見せているものの、ルピー安と原油価格の上昇などからインフレ圧力は強く、政府および中央銀行の今後の舵取りが注目される。(田村一軌)

## 図に関するデータの出所および注

### 日本：

- 図 1 内閣府経済社会総合研究所 (<http://www.esri.cao.go.jp/jp/sna/menu.html>)
- 図 2 日本銀行 (<http://www.stat-search.boj.or.jp>)
- 図 3 消費者物価指数：総務省統計局 (<http://www.stat.go.jp/data/cpi/sokuhou/tsuki/index-z.htm>)；株価指数：Yahoo (<http://finance.yahoo.com/quote/%5EN225/history>)；為替レート指数：日本銀行 (<http://www.stat-search.boj.or.jp>)
- 図 4 財務省 (<http://www.customs.go.jp/toukei/suii/html/time.htm>)；東アジアは中国、香港、韓国、台湾、インドネシア、マレーシア、フィリピン、シンガポール、タイ、ベトナムの合計

### 中国：

- 図 1 China, National Bureau of Statistics, *National Data (Quarterly)* (<http://data.stats.gov.cn/english/easyquery.htm?cn=B01>)
- 図 2、図 3 China, Statistics and Analysis Department, The People's Bank of China (<http://www.pbc.gov.cn/diaochatongjisi/116219/index.html>)
- 図 3 消費者物価指数：China, National Bureau of Statistics, *National Data (Monthly)* (<http://data.stats.gov.cn/english/easyquery.htm?cn=A01>)；
- 図 4 China, General Administration of Customs, *Statistics / Monthly Bulletin* (<http://english.customs.gov.cn/statics/report/monthly.html>)

### 香港：

- 図 1、図 4 Hong Kong, Census and Statistics Department, *Hong Kong Statistics* (<http://www.censtatd.gov.hk/hkstat/>)
- 図 2、図 3 Hong Kong, Monetary Authority, *Monthly Statistical Bulletin* (<http://www.hkma.gov.hk/eng/market-data-and-statistics/monthly-statistical-bulletin>)

### 韓国：

- 図 1、図 2、図 3 Korea, Bank of Korea (<http://ecos.bok.or.kr>)
- 図 3 株価指数：Yahoo (<http://finance.yahoo.com/quote/%5EKS11/history>)
- 図 4 Korea, Korea Customs Service ([https://unipass.customs.go.kr:38030/ets/index\\_eng.do](https://unipass.customs.go.kr:38030/ets/index_eng.do))

### 台湾：

- 図 1 Republic of China, Directorate-General of Budget, Accounting and Statistics, *National Statistics* (<http://statdb.dgbas.gov.tw/pxweb/dialog/statfile1L.asp>)
- 図 2 Republic of China, Central Bank of China (<http://www.cbc.gov.tw/content.asp?mp=2&CuItem=2069>)
- 図 3 消費者物価指数：Republic of China, Directorate-General of Budget, Accounting and Statistics, *National Statistics* (<http://eng.stat.gov.tw/ct.asp?xItem=12092&ctNode=1558&mp=5>)；株価指数：Yahoo (<http://finance.yahoo.com/quote/%5EN225/history>)；為替レート指数：Republic of China, Central Bank of China (<http://www.cbc.gov.tw/ct.asp?xItem=1880&ctNode=511&mp=2>)
- 図 4 Republic of China, Customs Administration, Ministry of Finance, *Trade Statistics Search* (<https://portal.sw.nat.gov.tw/APGA/GA03E>)

### インドネシア：

- 図 1、図 4 Indonesia, Statistics Indonesia (<http://www.bps.go.id>)
- 図 2 Indonesia, Bank Indonesia, *Indonesian Financial Statistics* (<http://www.bi.go.id/en/statistik/seki/terkini/moneter/Contents/Default.aspx>)
- 図 3 株価指数：Yahoo (<http://finance.yahoo.com/quote/%5EJKSE/history>)；消費者物価指数：Indonesia, Statistics Indonesia (<http://www.bps.go.id/linkTabelStatis/view/id/907>)；為替レート：Indonesia, Bank Indonesia (<http://www.bi.go.id/en/moneter/informasi-kurs/referensi-jisdor/Default.aspx>)

### マレーシア：

- 図 1、図 2、図 3、図 4 Bank Negara Malaysia, *Monthly Highlights and Statistics*, various issues ([http://www.bnm.gov.my/index.php?ch=en\\_publication&en&pub=msbarc](http://www.bnm.gov.my/index.php?ch=en_publication&en&pub=msbarc))
- 図 1 2018 年第 3 四半期：Bank Negara Malaysia, *Economic and Financial Data for Malaysia* ([http://www.bnm.gov.my/index.php?ch=statistic\\_nsd&uc=2](http://www.bnm.gov.my/index.php?ch=statistic_nsd&uc=2))
- 図 2 国内債権：International Monetary Fund, *International Financial Statistics* (<http://data.imf.org/ifs>)
- 図 3 株価指数：Yahoo (<http://finance.yahoo.com/quote/%5EKLSE>)
- 図 4 日本との輸出入：Malaysia, Department of Statistics, *Malaysia External Trade Statistics* (<https://metsonline.stats.gov.my/>)

#### フィリピン：

- 図1 Philippines, Philippine Statistics Authority, *National Accounts* (<http://psa.gov.ph/nap-press-release/data-series>)
- 図2、図3 Philippines, Bangko Sentral ng Pilipinas, *Economic and Financial Statistics* ([http://www.bsp.gov.ph/statistics/statistics\\_key.asp](http://www.bsp.gov.ph/statistics/statistics_key.asp))
- 図3 株価指数：Yahoo Finance (<https://finance.yahoo.com/quote/PSEI.PS/history>)
- 図4 Philippines, Philippine Statistics Authority, *Foreign Trade* (<http://www.psa.gov.ph/business/foreign-trade>)

#### シンガポール：

- 図1 Singapore, Department of Statistics (<https://www.singstat.gov.sg/find-data/search-by-theme/economy/national-accounts/latest-data>)
- 図2 Singapore, Monetary Authority of Singapore, *Monthly Statistical Bulletin* (<http://www.mas.gov.sg/Statistics/Monthly-Statistical-Bulletin/Money-and-Banking.aspx>)
- 図3 消費者物価指数：Singapore, Department of Statistic, (<https://www.singstat.gov.sg/find-data/search-by-theme/economy/prices-and-price-indices/latest-data>)；株価指数：Singapore, Monetary Authority of Singapore, *Monthly Statistical Bulletin* (<http://www.mas.gov.sg/Statistics/Monthly-Statistical-Bulletin/Financial-Markets.aspx>)；為替レート指数：Singapore, Monetary Authority of Singapore, *Other Financial Statistics* (<http://www.mas.gov.sg/Statistics/Other-Statistics.aspx>)
- 図4 Singapore, Department of Statistic (<https://www.singstat.gov.sg/find-data/search-by-theme/trade-and-investment/merchandise-trade/latest-data>)

#### タイ：

- 図1 Thailand, National Economic and Social Development Board ([http://www.nesdb.go.th/nesdb\\_en/more\\_news.php?cid=155](http://www.nesdb.go.th/nesdb_en/more_news.php?cid=155))
- 図2 Thailand, Bank of Thailand (<https://www.bot.or.th/English/Statistics/EconomicAndFinancial/Pages/StatMFSSurvey.aspx>)
- 図3 消費者物価指数：Thailand, Ministry of Commerce, Bureau of Trade and Economic Indices ([http://www.price.moc.go.th/en/home\\_en](http://www.price.moc.go.th/en/home_en))；株価指数：Thailand, Bank of Thailand (<https://www.bot.or.th/English/Statistics/FinancialMarkets/CapitalMarket/Pages/StatCapitalMarket.aspx>)；為替レート指数：Thailand, Bank of Thailand (<https://www.bot.or.th/English/Statistics/FinancialMarkets/ExchangeRate/Pages/StatExchangeRate.aspx>)
- 図4 Thailand, Bank of Thailand (<https://www.bot.or.th/English/Statistics/EconomicAndFinancial/Pages/StatInternationalTrade.aspx>)

#### ベトナム：

- 図1 Vietnam, General Statistics Office, *Monthly Statistical Information* ([http://www.gso.gov.vn/default\\_en.aspx?tabid=622](http://www.gso.gov.vn/default_en.aspx?tabid=622))
- 図2 International Monetary Fund, *International Financial Statistics* (<http://data.imf.org/ifs>)
- 図3 2017年3月までの消費者物価指数および為替レート：International Monetary Fund, *International Financial Statistics*, September 2017 CD-ROM；それ以降の消費者物価指数と為替レート：Vietnam, General Statistics Office, *Monthly Statistical Information* ([http://www.gso.gov.vn/default\\_en.aspx?tabid=622](http://www.gso.gov.vn/default_en.aspx?tabid=622)) より推計；2014年12月までの株価指数：Hochiminh Stock Exchange (<http://www.hsx.vn>)；それ以降の株価指数：Fusion Media, *Investing.com* (<http://www.investing.com/indices/vn-historical-data>)
- 図4 2017年3月まで：International Monetary Fund, *Direction of Trade Statistics*, September 2017 CD-ROM；それ以降：Vietnam, General Statistics Office, Thematic Data, *Import-export turnover* ([http://www.gso.gov.vn/default\\_en.aspx?tabid=626](http://www.gso.gov.vn/default_en.aspx?tabid=626))

#### インド：

- 図1、図2、図3、図4 Reserve Bank of India, Database on India's Economy, Statistics tab (<https://dbie.rbi.org.in/DBIE/dbie.rbi?site=statistics>)
- 図1 2018年第3四半期：India, Ministry of Statistics and Programme Implementation (<http://www.mospi.gov.in>)
- 図3 株価指数：Yahoo (<http://finance.yahoo.com/quote/%5EBSESN/history>)
- 図4 日本との輸出入：International Monetary Fund, *Direction of Trade Statistics* (<http://data.imf.org/dot>)